



JA秋田厚生連 平鹿総合病院…施設自慢（1ページ掲載）

看護あきた

Nursing Akita

Vol.141

令和2年度2号

contents

シリーズ 施設自慢	1
新人ナース紹介	2
地区支部活動報告	3
安全情報	4
常任委員会の紹介	5
秋田県ナースセンターニュース	6
理事会だより・事務局からのお知らせ	7

シリーズ 施設自慢

JA 秋田厚生連
平鹿総合病院

看護部長
佐藤 やよい



平鹿総合病院（以下、当院）は、1932年産業組合法により設立され、その後、農協法の成立に伴い秋田県厚生農業協同組合連合会に移管し、厚生連病院グループとして現在に至っております。当院は、医療の他、農村医学研究所の設立や看護専門学校併設、臨床研修病院の指定等、教育研究機関としても積極的に活動して参りました。

秋田県の二次医療圏における中核的医療機関としての役割の他、三次救急医療体制においては、県南の地域救急救命センター、地域周産期母子医療センターとしての機能を有しております。令和元年度救急患者数は14,020人、救急搬送2,757件、その入院割合は60%です。急性期治療においては、HCU（集中治療病棟）8床、CCU（循環器疾患専門治療病床）6床、SCU（脳血管疾患専門治療病床）6床を有し、専門医による専門的治療を行っております。中でも、心大血管疾患においては、心臓リハビリテーション指導士5名が、急性期治療と併行しベッドサイドでのリハビリを行い、在宅復帰に向け多職

種カンファレンスでゴールを共有する等、チーム医療を積極的に展開しています。患者満足度も高く、退院後の生活に合わせた指導やリハビリの依頼は、年々増加傾向にあります。（令和元年度実績；心リハ患者数348人／年、延べ心リハ件数5,318件／年、最大心リハ件数17回／人）

また、当院は一般病床（344床）の他、地域包括ケア病棟が2単位（113床）あります。急性期から回復期・在宅へと患者家族の意思決定を尊重しながら院内連携を強化しています。看護部理念の“患者さんが気持ちよく、そして自分も気持ちよく”を基本に、最も身近な存在として看護の専門性を発揮することを目指しております。

今後は、長い歴史の中受け継がれてきた医療活動を基本とし、環境の変化に柔軟に対応しながら、この地域になくてはならない病院として地域の皆様の信頼と満足が得られるよう職員一丸となって取り組みます。



看護師として働き始めて約3か月が経ちました。配属となった救急総合診療部は小児から高齢者という幅広い年齢層の患者さんを対象としています。緊急度の高い患者さんが救急搬送されてくることもあるため、多くの知識が必要となり、観察力と判断力が求められます。配属初日は心肺停止の患者さんが2件救急搬送されました。先輩が対応している姿を目の当たりにして、自分にもできるようになるのだろうかと不安になりました。しかし、エルダーや先輩からの丁寧な指導や助言を頂き、少しずつ業務にも慣れてくる中で、今はやりがいや責任の強さを実感しています。目の前にいる患者さんから学ぶことは多く、今後も患者さんと関わりながら知識と技術をより身に付け、患者さんやその家族に寄り添った看護をしていきたいです。また、緊急時の対応を学び、患者さんのために私にできる事は何かを考え行動できる看護師になりたいです。まだまだ未熟で分からないことも多いですが、経験を重ね自分が目指す看護師に近づけるよう日々成長していきたいと思っています。



中通総合病院
斉藤 莉那

①働き始めて感じたこと

入職して4カ月、学生時代の実習とは違い、看護師として人の命を預かることへの責任の重さと怖さというものを感じます。また、患者さんを受け持つようになり、入院から看取りまで関わることもありました。自分にもっとできることがあったのではないかと、患者さんにとってその人らしい最期を支えることはできたのか、悩み振り返る日々です。しかし不安なことや分からないことは、先輩が一つ一つ丁寧に指導してくださいました。自分自身感じたことや経験したことの振り返り、そして先輩からの指導によって、できることが増えていることを実感しています。

②今後の目標

看護が患者さんの貴重な人生の一部に関わっているということを忘れず、後悔のないよう看護師として誠実に向き合っていきたいです。そして自分が患者さんにしてあげられること、してあげたいことを常に考え、患者さんやその家族を尊重した関わりができる看護師を目指していきたいです。



大曲厚生医療
センター
青谷 茉椰

春から看護師として働き始め4ヶ月が経ちました。私は、総合診療科のある病棟で働いています。様々な疾患を併せ持つ患者様がいるため、疾患と身体状態の関係性についてアセスメントすることの重要性について学んでいます。また御高齢の患者様が多いため、その人の全体像を把握することの難しさも感じています。ケアや処置の介助では、全てにおいて根拠が求められるため、安全と安楽を考え実践できる看護師になりたいと思いながら働いています。日勤以外にも、準夜勤や深夜勤も始まっており、仕事と私生活をバランス良く充実させられるようにしたいです。

今は知識や技術の不足がありますが、複数の患者様を受け持ちながらも、効率良く働く先輩方を目標とし、そのためには様々な事を主体的に学び早く一人立ちができるよう一生懸命頑張っていきたいです。そして患者様やスタッフにも信頼され、笑顔や元気も与えることができる看護師になりたいと思っています。



市立角館総合病院
栗林 正弥

地区支部活動報告

かづの厚生病院

鹿角地区支部 支部長 阿部 真理子

地区支部活動について

今まで経験したことのないコロナ禍の中で日々すごしています。今年度は役員会・事業の中止を余儀なくされ、7月22日に役員会を開催・新役員との顔合わせを行いました。

「交流会」は地区支部活動として会員・非会員の交流と親睦を図ることを目的に毎年行われております。

平成31年度：

「津軽西海岸・五能線リゾートしらかみとウェスパ椿山」

令和元年度：

「中野もみじ山散策と大館曲げわっぱ体験ツアー」

今年度は岩手県方面へバス旅行を企画してましたが、感染防止対策のため中止を決定しております。次年度笑顔で参加できるよう、看護職・医療従事者として今を乗り越えましょう。



鹿角地区支部

秋田県立循環器・
脳脊髄センター

秋田臨海地区支部 支部長 伊藤 真紀子

地区支部活動について

新型コロナウイルスの影響で、今年度予定しておりました「看護の日記念事業」「ふれあい看護体験」「第1回地区支部研修会」は中止となりました。7月10日に、ようやく新旧役員の引継ぎを終えたところです。

今後は令和3年1月22日（金）第2回地区支部研修会として、摂食嚥下障害認定看護師の土田美保子氏を講師に「摂食嚥下障害の看護（仮）」をテーマに予定しております。先の見通しが立てづらい状況ですが、研修会が無事開催できますよう役員一同準備を整えていきたいと思っています。



秋田臨海地区支部

常任委員会の紹介

各委員長より今年の抱負

看護労働環境改善委員会

中通総合病院

当委員会は、看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生について研修会を行いたいと考えています。今年度は看護管理者を対象に業務上の危険に対する認識と対処についてのアンケートを実施し、結果をもとに次年度研修会の開催を検討していきます。

近江
薫

教育研修委員会

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

今年度、委員長を務めさせていただくこととなりました。

前半はコロナの影響で企画研修が中止となり、開催方法も大きな変化が求められています。秋田県内の全ての看護職に学ぶ機会を提供できるように、皆様のご指導、ご協力をいただきながら活動を進めていきたいと思ひます。よろしくお願い致します。

堀江
美智子

広報委員会

杉山病院

今年は「看護の日」フェアが中止となりました。看護の心を大切に、県民・社会への看護職のアピールと会員の皆様に幅広い情報の発信を目指すために、「看護あきた」の発刊や来年の「看護の日」フェアをどのように行っていくか皆様の意見を聞きながら検討していきたいと思ひています。

藤島
一也

看護学会委員会

秋田しらかみ看護学院

秋田県看護学会委員会は、秋田県看護学会の開催に向けた企画・運営と、臨床実践における知の探求としての看護研究論文の発表支援を行っています。応募のあった研究論文に対してのきめ細かな査読と論文指導を行い、質の高い研究発表がされるよう取り組んでいます。

柴田
守

認定看護管理者教育運営委員会

秋田大学医学部附属病院

今年度、委員長を拝命いたしました。社会情勢や医療現場が目まぐるしく変化する時こそ、看護管理者の育成が重要になります。所属施設の皆様のご協力を頂きながら、役割を果たしていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願い致します。

小松
順子

災害看護委員会

市立秋田総合病院

全国で災害発生が多い中、秋田では3.11より支援ナースの派遣がありません。登録者94名のモチベーションUPのため研修内容を見直し、協会HPからの情報発信を行い、新規登録を推進していきます。また、必携マニュアルを見直し、災害時に即対応できるよう備えていく予定です。

成田
久美子

医療・看護安全委員会

大曲厚生医療センター

今年度から医療・看護安全委員長を務めさせていただくことになりました。

会員の皆様には、タイムリーな医療安全情報を提供し安全体制の充実を図ることができるよう取り組んでいきたいと思ひます。ご指導・ご協力よろしくお願い致します。

高橋
真理子



秋田県ナースセンターニュース



秋田県ナースセンターでは、求人施設の紹介・あっせんを行う職業紹介事業だけでなく、就業、復帰を希望する看護職に向けた復職支援研修を行っています。

看護職の復職支援のお知らせ：受講料無料

1. e-ラーニングを活用した研修

パソコンやスマートフォンでいつでもどこでも学習することができます。58テーマ見放題、確認テストで知識の確認、資料をダウンロードすることも可能です。

対象：看護師等免許を保持し、秋田県在住で、現在未就業であり、届け出サイト「とどけるん」に登録している方

定員：49名（定員になり次第終了）

申込期限：令和3年2月5日16時まで

視聴期間：個別ID・パスワード発行から3か月間（視聴期日は令和3年3月15日まで）

2. 現在企画準備中の研修…決定次第ホームページ等でお知らせします

- 採血練習キットを活用した研修
- 准看護師通信制進学支援研修
- ナースIKUカフェ
- ナースプラチナカフェ

〈届出制度について〉離職時の届出制度とは

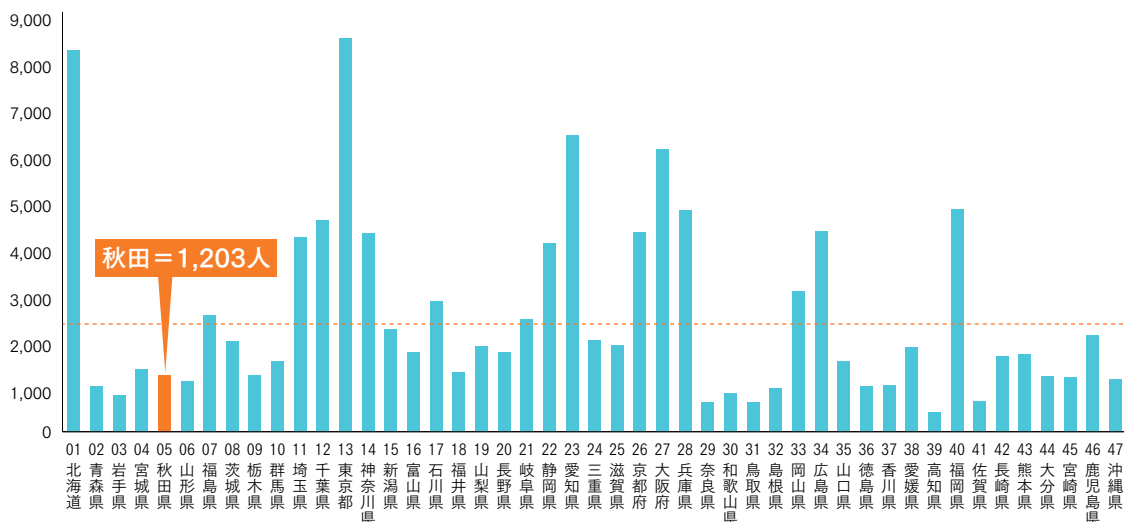
「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正が2015年（H27）10月に施行されました。これによって看護職は離職時などに住所、氏名、免許番号などの事項を都道府県ナースセンターへ届け出ることが**努力義務化**されました。

届け出の方法については①退職者本人が届出する方法②勤務先が離職者の同意のもと代行し届出する方法③届出用紙をナースセンターに郵送後、ナースセンター職員が代行入力を行う方法があります。届け出た看護職の方へ都道府県ナースセンターが離職等の状況に合わせた支援を行うことで、看護職としての切れ目のないキャリアを積むことができるよう支援を行います。

退職時に次の職場が決まっている人も、まずは届け出ていただくことで、将来の秋田県在住の潜在看護職を少なくしていくことにつながります。秋田県ナースセンターに2015年10月以降の「とどけるん」の届出総数は1,203名でした。届出数は全国平均を下回る状況にあります。もっと届出制度について理解度を高める活動が必要と感じます。

2015年10月～2020年3月 全国届出状況

(n=115,583人)





理事会だより

◎第1回 理事会(書面決議)

令和2年4月6日(月)

1. 決議事項

- 1) 令和2年度通常総会議案『第8号議案 次期会長候補者の選出について』
.....[承認]

◎第2回 理事会(書面決議)

令和2年4月21日(火)

1. 決議事項

- 1) 令和2年度通常総会の運営について[承認]

◎第3回 理事会(書面決議)

令和2年5月20日(水)

1. 決議事項

- 1) 令和元年度事業報告(追加分)[承認]
2) 令和元年度決算(案)[承認]
3) 令和2年度収支予算(案)[承認]
4) 秋田県看護協会の事業の再開について[承認]
5) 令和元年度末における特定資産の積立てについて[承認]
6) 令和2年度職能・常任委員会委員の選任について[承認]

◎第4回 理事会

令和2年6月24日(水)

1. 決議事項

- 1) 会長(代表理事)の選定について[承認]
2) 副会長等の役員の選定について[承認]
3) 会長臨時代理の選定について[承認]
4) 常務会の構成員の選任について[承認]
5) 事業報告等について[承認]
6) 訪問看護ステーション職員業績手当の支給について[承認]
7) 固定資産の改良について[承認]

2. 協議事項

- 1) 各理事の行事等担当について

3. 報告事項

- 1) 令和2年度秋田県看護協会及び日本看護協会行事・事業日程について
2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止事業について
3) 秋田県看護協会事務局組織図等について

※概要を知りたい方は、当協会ホームページ(<http://www.akita-kango.or.jp/>)をご覧ください。ホームページにアクセスできない方は、当協会にご連絡ください。

事務局からのお知らせ

配信期間

令和2年

11.10~11.23

[火] [月・祝]
10:00 10:00

第47回 秋田県看護学会 新たな時代を支える看護のちから

web上での
オンデマンド配信となります

参加者ご本人様の入金確認後に学会集録と
視聴用パスワードを送付いたします。

配信期間中は、
秋田県看護協会HPより
アクセスいただけます。
こちらのQRコードから
ご覧ください。



開催日時

令和2年

11.5

[木]

13:00~16:00

訪問看護・介護施設・診療所等で働く
看護職の課題と情報提供による組織強化策

●看護師職能II集会

[講師]看護師職能II委員

[会場]秋田県総合保健センター

5階 第1研修室

[対象]在宅・施設領域(訪問看護・介護施設・診療所等)における看護職 35名程度

[締切]10/28(水)

開催日時

令和2年

11.20

[金]

10:00~15:30

複雑かつ多重課題を抱える人々
への支援を考える

●保健師職能事例検討会

[講師]事例提供者3名

[会場]秋田県総合保健センター

2階 第1研修室

[対象]秋田県内在住の保健師
(会員・非会員) 35名程度

[締切]11/6(金)

開催日時

令和2年

11.12

[木]

10:00~12:30

産後のメンタルヘルス
—母乳育児支援とメンタルヘルス—

●助産師職能集会

[講師]助産院イスキア 菅原光子氏

[会場]秋田県総合保健センター

5階 第1研修室

[対象]助産師、助産師学生他 30名

[締切]10/29(木)

開催日時

令和2年

12.17

[木]

10:30~15:00

保健事業と介護予防の
一体的実施の推進

●保健師職能集会

[講師]秋田県長寿社会課 1名、

秋田県後期高齢医療地域連合 1名

[会場]秋田県総合保健センター

2階 第1研修室

[対象]看護職の方(会員・非会員) 50名

採血静注練習キット寄贈のご紹介

株式会社ケー・シー・シー・商会様より、sensitiv@採血静注練習キット(3台)をご寄贈いただきました。事業等で大切にに使わせていただきます。



株式会社ケー・シー・シー・商会
代表取締役社長 姫野泰宏 様(右)



編集後記

今年は世界的に新型コロナウイルスが大流行し、不安な日々が続いていると思います。いつか来る収束を祈り、みんなで力を合わせ頑張りましょう。

今年度から広報委員会のメンバーに加われました。皆様に興味を持って見てもらえるような「看護あきた」になるよう努力しますので、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。(記：広報委員 中川慎太郎)

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。